

第19号 | 2013年10月15日発行

富士見高原セミナーハウスでゼミ合宿を行いました。

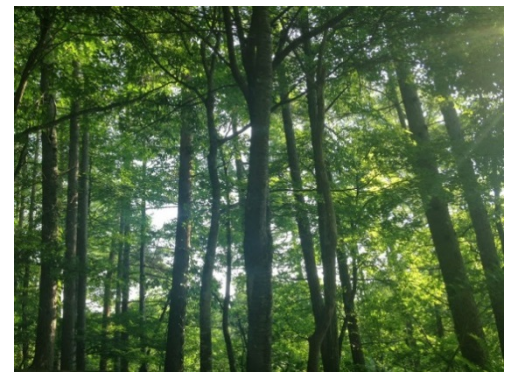
講師 内田塔子

夏休み恒例のゼミ合宿。今年は3・4年合同で東洋大学富士見高原セミナーハウスにて行いました。写真のようにモダンな佇まいの富士見高原セミナーハウスは、周囲を美しい緑で囲まれた最高の環境の中にあり、最寄駅の小淵沢駅までは大学専用マイクロバスが送迎してくれます。



ゼミは、講義形式の授業とは違って少人数で構成されています。各自が興味のあるテーマについて個人発表を行い、ゼミメンバーで議論していく主体的な学びのスタイルが特徴です。今回の合宿では、認可外保育所における24時間保育、児童文学と子どもの発達、いじめ加害者に対する認識の問題、性の低年齢化と性教育、幼児期における異文化交流に関する発表がありました。発表担当の学生は、ゼミメンバーからどのような質問をされても答えられるよう必死に発表準備をするなかで自然と学びが深まりますし、それ以外の学生は、自分とは違った視点や興味分野の発表を聴いて議論に参加することで、自分の視野を広げ、多様なものの見方ができるようになっていきます。

各自が興味のあるテーマについて個人発表を行い、ゼミメンバーで議論していく主体的な学びのスタイルが特徴です。今回の合宿では、認可外保育所における24時間保育、児童文学と子どもの発達、いじめ加害者に対する認識の問題、性の低年齢化と性教育、幼児期における異文化交流に関する発表がありました。発表担当の学生は、ゼミメンバーからどのような質問をされても答えられるよう必死に発表準備をするなかで自然と学びが深まりますし、それ以外の学生は、自分とは違った視点や興味分野の発表を聴いて議論に参加することで、自分の視野を広げ、多様なものの見方ができるようになっていきます。



子ども支援学専攻 ニュースレター

ゼミ合宿は、前述のような個人発表・ディスカッションの他、レクリエーションも盛りだくさんです。定番のバーベキューや花火の他、今年は学生の希望により、食後のスイカ割り、深夜のビンゴ大会に最終日の信州そば打ち体験と大いに盛り上がりました。

よく学び、語り、遊んだゼミ合宿、大学生活の貴重な1ページになったと思います。

